

災害派遣職員レポート

No.2 H23.3.29

現地ニーズ調査隊の一員として、えびな北高齢者施設の渡辺健司相談員と同じく藤村2階介護課課長補佐を岩手に派遣しました。

二人から現地の様子について報告が届けられました。ぜひ、写真と併せてご覧ください。

現在多くの職員から、派遣協力の申し出があります。法人としても全面的に協力体制を取っていく所存です。災害を受けられた皆様の、一日も早い復興を心から願っています。

H23.3.27 渡邊相談員

お疲れ様です。今日から現地調査に入りました。僕と藤村補佐担当の地区は久慈市、野田村、普代村、田野畑村の岩手北部の地区です。

野田村は陸前高田市と変わらないくらいのひどい被害でした。今日は日曜日ということもあり施設の管理職が不在のため、各市町村の災害対策本部に行き全社協の施設調査の活動の趣旨を説明して回りました。

久慈はそれほど甚大な被害はないため、ビジネスホテルを取って、そこから日中活動するといった感じです。朝食と夕食はホテルの近くの弁当屋等でなんとかなるので、昼食で持たせてもらったパンとカップ麺を使わせてもらいます。被災地に行けばやっている店は当然なく、昼食の場所を探す時間が省けるのでとても助かります。

こちらはとても寒く今日もかなりの雪が降ってました。早朝は道が凍結しているため気をつけて運転しています。被災地の方たちは雪の中でもがれきの中でがんばって活動していました。

H23.3.28 藤村補佐

今日は岩泉町、田野畑村の高齢者施設、保育所、障害者施設10件を調査で訪問。

高齢者の入所施設4ヶ所では、2～9名の在宅高齢者を受け入れている。あるデイでは4月より14名を受け入れて宿泊施設となる為、外部の職員の応援はありがたい、とのこと。

ある保育所は、津波に被災した為場所を他に間借りし運営していた。

今回調査した地域は他に比べ被災規模が小さく、利用者職員ともに亡くなった人はいなかったが、家が流された職員は少なからずいた。(津波被災した保育所の写真を添付)

